



# 新年のぐく挨拶

# てんのおひ

第 234 号

発行所  
山口県周南市大字大河内  
特別養護老人ホーム天王園  
天王園シヨートステイ  
天王園デイサービスセンター  
天王園在宅介護支援センター  
グループホーム天王園

年明けの一月五日、今年の干支申年生れの方を中心に座談会を開催しました。昨年を振り返り、新年にかける思いを語っていただきました。

石田 和男さん

『テレビや新聞では、日々、暗いニュースが多く、気分が滅入ってしまうことが多いです。今年は、明るい話題が多くなることをお祈りしています』

沖本 富さん

『今年の干支、サルに負けないように、元気いっぱい、笑顔絶やさず、一日一日を大事に過ごしていきたいと思っています』

高橋 クニ子さん

『昨年も巨大台風、洪水などによる甚大な被害、いたたまれない事件などがありました。東日本大震災発生から五年が経過する今年一年がなにごともない平和な年になることを祈願致します』

# 嬉しげんげん!

①十二月十日、大河内幼稚園の園児六十六名が、つきたてのお餅を届けに来てくれました。『大好きなおじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気でね』と書かれた絵手紙も添えられており、松岡千代子さんが『ありがとう、皆で美味しく戴きますよ』と、お礼を述べられました。贈呈式後には、火の用心の歌を皆さん一緒に大合唱、心もポカポカの一時でした。



②十二月二十五日、高水鶴見台のレインボークラブの方々のご訪問

され、心のもった手作りのぐくぶとんとびざ掛けをプレゼントして頂きました。代表の宇留嶋ミドリさんが、『利用者の皆さんに少しでも暖かく過して欲しいと思いつつ、会の皆で一生懸命作りました』とご挨拶をされ、利用者さんお一人お一人に手渡ししてくれました。久保ヨシコさんは『ちょうど足元の風が気になっていたところで、とてもありがたいです。ありがとうございます』とご感想を話され、最後に、温かい握手を交わしながら来年の再会をお互いに約束されていました。



# ツル見交流会

十二月一日、利用者さん、十六名とともに八代へつる見に出掛けました。監視所の入り口で、八代



小学校児童の皆さんがお出迎え、建物の中への誘導、移動のお手伝いをして頂きました。代表児童の挨拶、歓迎の創作ダンスの披露があり、交流開始となりました。ナベツルのよく見える場所へ連れて行ってもらったり、エサ場の整備や手作り日誌など、ツルの保護活動、学校のお話などで、おおいに盛り上がっていたようです。石橋千鶴子さんは、『みんなのお陰でしっかりとツルを見る事ができたヨ！本当に感謝、感謝です』と感想を話されていました。最後は肩を揉んでもらい、お土産の折鶴をプレゼント、素晴らしい交流会となる事が出来ました。



# 俳句・短歌

◆降る雪の吹雪に変わりし中を出づ

今日ボランティアの集ひの日なり

金子タツ子

◆新春の気持ちも新たに七草や

藤井スミエ

◆例年のならい七草雑炊を

食みつつ家族の健康を願う

デイサービス・野村トシ

◆大寒の空夕焼けてカラス啼く

急ぐ家路の吾が影長し

デイサービス・森脇照子

◆冬の空どんより曇り寒々と

雲の切れ間に日が覗き出す

瀬下幸子

# クリスマス行事

十二月二十四日、クリスマス会を開催しました。シングルベルの曲が流れる中、まずはシャンパン



でカンパイ！チキンやケーキの特別献立に舌鼓でした。午後からはサンタクロースさんが各居室を訪れ、プレゼントを配られ、利用者皆さん、満面の笑顔で受け取られておられました。

# 1月誕生日の方々

☆磯田 邦男 様 : 六十八歳

☆玉本 光子 様 : 九十三歳

☆中嶋 一男 様 : 八十四歳

☆森重 照子 様 : 九十四歳

皆さんおめでとうございませう！

# もちつき大会

十二月三十日、正月を前に恒例のもちつきを行いました。手ぬぐいの姉さんかぶりもバッチリ決まり、出来立てのお餅を慣れた手つきで、あつという間に食べやすい大きさに丸めていきます。さっそく、三時のおやつのぜんざいとして美味しく頂きました。



# 編集後記

年末のお忙しい時期にボランティアや慰問に大勢の方に来園頂きました。皆さんに支えられ、お陰さまで利用者の皆さん、職員一同そろって、元気に新年をスタートすることが出来ました。今後、強い寒波の到来が予報されていますので風邪などひかれないように体調に気をつけましょう。